

令和2年 新年賀詞交歓会報告

総務委員会

令和2年1月24日(金) JRホテルクレメント高松の3階飛天西の間において、(一社)香川県電気工事業協会主催の令和2年新年賀詞交歓会を開催いたしました。

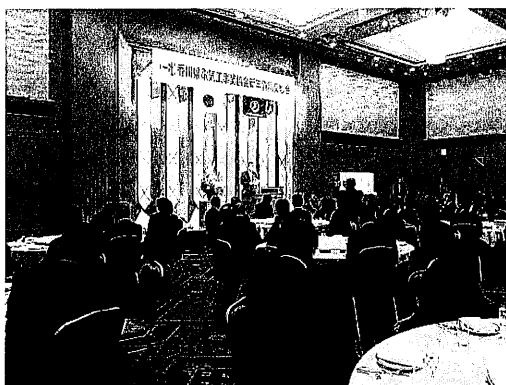
当日は、正会員・賛助会員を始め、関係団体からのご来賓14名のご出席を賜り、総勢108名のご参加を頂き盛大に開催することが出来ました。

まず、山地会長から年頭の挨拶で、本日は、香川県から安藤菅緒課長、高松市から田村副市長、親協会から家高四国支部長、これら皆様を始め、県内業界の多くの重鎮にご臨席を賜り、このように大勢の会員各位と共に、元気に賀詞交歓会が出来ますこと、誠に嬉しく、深く感謝申し上げます。

さて今、「令和初の賀詞交歓会」にあたり、まずは昨年を振り返ってみたいと思います。昨年、第一に記念すべきは、何と申し上げても「平成から令和への御代替わり」でした。天皇陛下がお元気な内の御代替わりは、実に有り難く、我々国民は「歓び一色で新たな時代の幕開け」を迎えたのであります。同時に我々は「日本人としての誇り」を、スポーツの世界で「心新た」にしました。ラグビーW杯で日本代表が8強に入る快挙に、日本中が沸きに沸いたのです。

しかしながら、世界情勢は混沌としております。特に、米国と中国の覇権争いは「冷戦」の様相を呈して参りました。これでは世界経済も、我国経済も益々シュリンクしてまいります。

また、国内に於ける天災の発生は、この数年「連続」であり、昨年は台風被害が顕著でした。関東～東北を中心に台風15号・19号・21号と次々と襲って参りました。特に、9月の台風15号に



よる停電が千葉県全域に及んだ際には、四国からも応援に行く等、我々は電気工事業の「業界人としての誇り・責任の重大性」を、再確認した次第です。

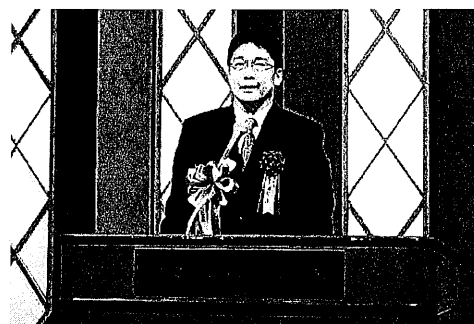
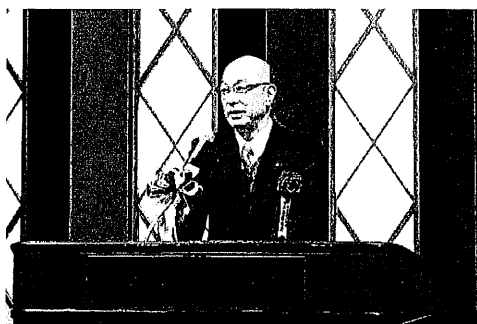
今、我が業界に於いて最も大きな問題は「業界に若者が殆ど入職しなくなったこと」であり、高齢化する我が業界は、このままでは沈没です。我々は、これら「業界人としての誇り・責任の重大性」を、今の若者達に向け

「何としても伝えて行かねば」成りません。

本日、家高支部長にご臨席を頂いておりますが、我らの親協会である日本電設工業協会に於いても「同様の危機感」を下に、業界アピールの為の資料づくりを進めておられますが、これと並行し、当協会が実践する「若年者及び女性に魅力のある職場づくり事業」を推進して、今後は「我ら香電協独自の方策」を、更に全力で検討・実践して行きたいと存じます。

いずれにせよ、今年も「新たな試練が襲って来る」と考えるべきであります。これ等の試練を、我ら香電協会員は心一つに、従来にも増して、明るく・楽しく、一致団結して乗り越えて行きたいと考えております。今年が良い年でありますよう、心よりご祈念を申し上げます。

とのご挨拶が会長からあり、続いて、ご来賓紹介の後、香川県総務部営繕課の安藤課長や高松市の田村副市長より祝辞とご挨拶を頂き、一般社団法人日本電設工業協会四国支部の家高支部長による乾杯の御発声で宴席に入り、和やかな雰囲気の中で名刺交換や談笑が行われるとともに、各テーブル間でのそれぞれ交流が盛り上がりました。そして、お開きの時刻となり、小川副会長の中締めのお発声によりめでたく閉宴となりました。



最後になりましたが、賀詞交歓会の開催にあたり、お世話を頂きました会員各社の方々や総務委員・青年部の皆様、また、ご参加頂きました会員各社・賛助会員各社の皆様方に心からお礼を申し上げますと共に、本年が皆様にとりまして良い年となりますよう祈念いたしまして、ご報告とともにお礼の言葉といたします。

第44回通常総会報告

総務委員会

令和2年5月15日(金)当協会の事務所に
て第44回通常総会を開催いたしました。
正会員47社のうち、10名出席、委任状提出
者22名、議決権行使14名、欠席1名、を
受けて開催しました。



今年は年明けから新型コロナウイルス
関連の話題で新聞報道を賑わしており、

私共として総会の開催を案じておりましたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から「密閉」、
「密集」、「密接」三密防止対策やソーシャルディスタンスが提唱され、まず、総会後の懇親会
の開催が中止となりました。その後、4月7日に国の緊急事態宣言が出され、間もなく14日に県
独自の県緊急事態宣言が出されるなどから、今年の総会開催について役員会で協議することとな
りました。

役員会の中では、総会を取りやめると今年の事業計画や、予算の執行が先送りされることとな
ること等から、必ず予算執行する方法を採らなければならない等の問題点が出され同じ団体の対
応や専門分野の意見を参考とすることとしました。

そこでまず考えたのが、書面開催の方法での総会開催でありました。書面開催は会員全員に総
会での審議事項を手元に送付して賛否の意見を書面に記載し返送頂くという方法です。この方法
は、一見簡単そうではありますが、実は、必ず会員全員の賛同がなければならないとの原則があ
り、ハードルは高いものとなります。一方、他協会の団体は小規模でも総会を開催するとのこと
でありました。

そのようなことから、当協会では、委任状の提出や議決権行使の制度を活用して、三密防止対
策をし最小限の人数に限定して、総会の開催を当協会事務所において実施することとしました。

まず、会長から、本来であれば今年は「東京オリンピック・パラリンピックの開催年」でした
が、開催は一年延期、更に「来年の開催を不安視する声」すら聞こえて参ります。

更に、諸外国では都市封鎖等により、我が国よりも深刻な事態となっており、世界恐慌すら現
実味を帯びて来ています。との挨拶で始まり、議長選出では、小川副会長を選出し、第1号議案
平成31年(令和元年)度事業報告について、第2号議案平成31年(令和元年)度収支決算報告につい
ての両議案について、議長は、これを一括付議し、資料に基づき事務局長より説明の後、第2号

議案の収支決算報告については、新名・小尻両監事のうち、代表して新名監事から監査の結果について、いずれも正確かつ適正であると認める旨の報告がなされ、承認を求めた結果、満場一致をもって原案のとおり承認可決しました。

引き続き、第3号議案令和2年度事業計画(案)について、第4号議案令和2年度収支予算(案)についても同様に、議長は、これを一括付議し、資料に基づき事務局長より説明の後、承認を求めた結果、満場一致をもって原案のとおり承認可決されました。引き続き、第5号議案役員改選の件について、議長は、これを付議し、資料に基づき事務局長より説明の後、承認を求めた結果、満場一致をもって原案のとおり承認可決され、各被選任者はその就任を承諾しました。

続いて、報告事項に移りその前段に、この3月末までの1年間に取り組んで来た社会貢献事業の献血について、5社7名の方から献血があり2,800mlの献血量があったことの報告がありました。続いて令和2年度青年部事業計画(案)については時間の関係から説明は省略し、後程ご覧くださいとの報告があり、全員に意見を求めた結果、特に意見もなく総会の審議事項のすべてを終了しました。



以上、総会の開催時間は約30分程度でしたが、困難な時期に充実した総会となりました。

その後、理事の過半数が出席していたことから、その場で理事会を開催し三役の選考を行った結果、再任することで決定すると共に、それぞれから了承をいただきました。

一方、予定では今年の優良従業員表彰及び優良若年従業員表彰が行われるべきでありましたが、現下の状況、これらが出来ないことから、それぞれの表彰状と記念品を郵送にて各社に送付して上席者から本人へ贈呈をしていただくことをお願いしました。受賞された方々は、次のとおりです。

優良従業員表彰

敬称略

会社名	受賞者氏名	会社名	受賞者氏名
(株)ME 電工	南 祥大	四国メンテナンス(株)	花澤修司
讃州電気工事(株)	中 恵久善	中央電業(株)	大林信喜
三信電気水道(株)	中田浩平	日本電設工業(株)四国支店	谷森真一
三和電業(株)	石川恭平	(株)四電工香川支店	御 廐伸和
四国電設工業(株)	沖川武志	以上9名	



南 祥大



中 恵久善



中田浩平



石川恭平



沖川武志



花澤修司



大林信喜



谷森真一



御 廐伸和

優良若年従業員表彰

敬称略

会社名	受賞者氏名	会社名	受賞者氏名
(株)ME 電工	村中貴紀	三信電気水道(株)	蓮井龍也
讃州電気工事(株)	渡辺晃平	三和電業(株)	大眉貴照

以上4名



村中貴紀



渡辺晃平



蓮井龍也



大眉貴照